

よしかわ 議会だより

NO.168
平成28年2月1日



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
TEL & FAX (982) 9421
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp



消防出初め式（※8ページに説明があります。）

一般会計補正予算を可決

12月定例会の概要

12月定例会は、11月27日から12月11日までの15日間にわたり開催されました。

市長提出議案16件は、すべて原案のとおり可決・同意しました。議員提出議案は3件を上程し、1件を可決しました。

また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、16人の議員が市政全般について市の見解をたえました。

市長提出議案

一般会計補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億2899万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ222億111万7000円となりました。

また、窓口電算システム賃貸借事業などの債務負担行為が新たに追加されました。

今号の主な内容

- ① 一般会計補正予算を可決
- ② 議員提出議案・10月臨時会
常任委員会の審査から
答えて市長！一般質問
- ③ 審議結果・次定例会の日程
- ④ お知らせ・編集後記
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧

一般会計補正予算

こんなことに使われます

土地改良施設維持事業

283万6000円

排水機場ポンプの補修を行うため、負担金を支払うものです。

教育振興事業

118万8000円

ICT（情報通信技術）を活用した授業を行うため、授業で使用するタブレット端末を各小学校に購入します。



窓口電算システム 改修委託料

1058万4000円

税制改正や社会保障・税番号制度に伴い、窓口電算システムを改修します。



用排水路整備事業

552万4000円

国の補助金を活用して、用排水路の整備を行います。

市長提出議案

次ページへ続く



市長提出議案

前ページから続き

各特別会計補正予算

一般会計のほか、各特別会計等の補正予算も計上され、次のとおり可決しました。

●国民健康保険

485万9000円の増額
平成28年度までの債務負担行為を200万円に設定

●下水道事業

724万8000円の増額
平成30年度までの債務負担行為を431万4000円に設定

●介護保険

平成28年度までの債務負担行為を1353万円に設定

●水道事業会計

収益的支出
2410万1000円の増額
資本的支出
235万2000円の減額



吉川市まちづくり整備基準条例の一部を改正

社会経済情勢や社会構造等の変化に対応し、良好で活力あるまちづくりを推進する観点から、より一層の土地の有効活用や商業・業務の立地、集積を図るため、駐車場に関する基準を用途に応じて見直し緩和します。

吉川市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例を制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、平成28年1月1日から個人番号の利用が開始されるため、吉川市内部において効率的に個人番号を利用するために制定するものです。

吉川市部設置条例の一部を改正

国保年金課が所掌する国民健康保険に関する事務のうち、国民健康保険税の徴収に関する事務を収納課に移管して、税徴収部門を統合することにより、税債権の徴収の強化及び効率化を図ります。

吉川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を制定

農業委員会等に関する法律の一部が改正されることに伴い、これまで選挙により選ばれていた農業委員が、議会の同意を得て市長が任命することになります。また農業委員会の役割に「農地の利用の最適化」が義務付けられ、新たに農地利用の最適化のための活動を行う者として、「農地利用最適化推進委員」を農業委員会が委嘱します。

議員提出議案

今定例会では、意見書2件と決議1件を上程し、次の決議を可決しました。

決議

小・中学校普通教室へエアコンを設置し、猛暑対策を求める決議

近年、地球温暖化の影響や都市化の進行によって、全国的に夏季の暑さが非常に厳しく、授業やクラブ活動をはじめ、学校生活を送ることが厳しい状況であり、児童・生徒に対する熱中症など健康管理が懸念されている。

これまでも、夏の暑さ対策として扇風機等の設置をしていただいているが、猛暑時においての教室は学習環境として望ましいとはいえない状況である。

市・行政も子供たちへの健康への配慮や学習に集中できる環境を整備するため、小・中学校普通教室へのエアコン設置の必要性は認識し、エアコン設置に向けた調査、検討を進めることを表明されたところである。

よって、吉川市議会は、市・行政の市内小中学校教室への計画的なエアコンの設置に対して一層注視するとともに、猛暑対策を早急に取り組むことを決議する。

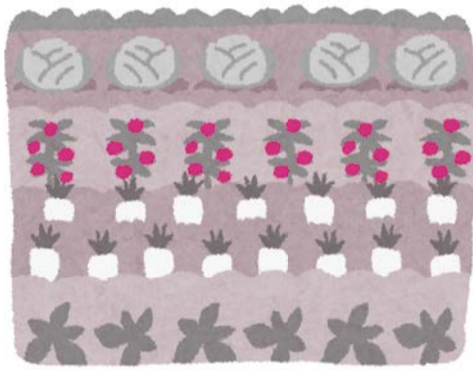
平成27年10月臨時会

平成27年10月27日に臨時会が開催され、市長提出議案1件が上程されました。議案は、新庁舎建設事業の方針決定に伴い新庁舎建設に係る設計業務委託を行うため、平成27年度から平成28年度にかけ6940万の債務負担行為を計上した「平成27年度一般会計補正予算」。本議案については、全会派から質疑があり、議決結果は、次の附帯意見を付けて可決となりました。

附帯意見

事業実施にあたっては、市民団体の代表者などで組織する吉川市庁舎建設等検討委員会から提出された「庁舎建設等に関する報告書」を基本とした「吉川市新庁舎建設基本構想」や、「吉川市新庁舎建設基本計画」に配慮するとともに、平成26年3月に策定された基本設計を尊重することとし、新庁舎の基本理念である『安全で快適なまちづくりの拠点として、市民と共に歩む開かれた庁舎』を実現するよう求める。
また、基本設計策定、実施設計策定の各段階においては、随時、本市議会への報告を行うよう強く求める。

人事案件



◆固定資産評価審査委員会委員

平成27年12月20日に任期満了となる茂木伸一氏が、再度選任されました。

ホームページ

ぜひ、ご覧ください！

吉川市議会

検索

本会議の会議録や議会活動などは、市のホームページでご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。なお、今定例会の会議録の提供は3月上旬となる予定です。





常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。

主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆吉川市部設置条例の一部を改正する条例

国保税の滞納者へは、臨戸徴収などの際、国保の担当が専門的な説明をしているが、収納課と一元化した場合に、そうした専門的な説明が継続してできるのか。
新しい部署となっても、専門的なノウハウがなければならぬ。経験のある職員の配置・研修を行うなどしていく。
税金を払うのが困難な状況の

方は、減免または生活保護へ繋げるといふこともある。福祉の面に繋げていくことも出来るのか。

現在においても、市税徴収、国保税徴収、どちらも対象となる方の家庭の状況を見て福祉へ繋げている。福祉との横の連携は引き続き行う。

賛成全員で可決

◆平成27年度吉川市一般会計補正予算

総務費の戸籍住民基本台帳費にある市制20周年記念事業についての内容は、

市制20周年記念事業として、「喜び倍増事業」と銘打って、ご成婚の祝福を盛り上げるために、平成28年度より使用する20周年を記念したロゴや、キャラクターデザインを配した婚姻届の用紙の印刷費、及びロールカーテン式の撮影用バック幕の備品購入費になる。

20周年だけではもったいないので、今後も使えるようにしたいかがか。

設置して好評を頂ければ、継続して使用できるよう検討していく。

総務費寄付金について。寄付の内容は、

個人で1件100万円の寄付があった。寄付者の意向から教育分野に活用する予定であり、各学校にタブレット端末の購入を考えている。
寄付が活用されていることを

ぜひPRして欲しい。善意に報いることが重要である。今後の呼びかけは、

ふるさと納税について、民間のインターネットサイトを通じて呼びかけ、今後も寄付への関心を高めていきたい。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆平成27年度吉川市一般会計補正予算

介護・訓練等給付費の増額の要因はなにか。

グループホーム、放課後等デイ、就労継続支援A型及び児童発達支援の扶助費が増加したことが主な要因である。

市として、どの様な保育サービスが必要と考えているのか。小規模保育事業を増やすのか、認可保育所を増やすのか、

まずは待機児童解消を第一に考える。小規模保育は2歳までの保育なので、就学前まで一貫



した保育を実施する認可保育所を基本と考えており、小規模保育事業所は認可保育所を補完するものと考えている。

教育振興費の補正の内容は。市民から教育分野に使ってほしいという趣旨で、ふるさと納税として寄付があったことを受けて、デジタル教科書を活用した授業で使用するタブレット端末を各小学校に1台購入するものである。

ICT機器を使った学習は学力が伸びないという統計もある、ICTに偏重した学習は悪い面もあることに注意が必要だ。

教師が学習の展開をしつかりと筋道を立てて、タブレット端末を活用して大型テレビに教材を写し、よりわかりやすい授業を展開するための導入である。

体育協会への補助金200万円は著名人を招待するための金額との答弁があったが、今回は招待者が決定していない状態で報酬を計上するのか。

現在、人選中のため招待者によって金額が変わる。市制施行20周年記念事業のマラソン大会としてゲストを招待することを実施する計画として計上した。

市民体育祭は自治会の負担がある。自治会の負担軽減の為、市民体育祭に掛ける予算を増額できないか。

実行委員会と同様の意見があり自治会負担が大きいと認識している。各学校区の予算の執行状況などを踏まえて予算を作成していく。

賛成全員で可決

建設生活常任委員会

◆吉川市まちづくり整備基準条例の一部を改正する条例

規制緩和はまちづくりとどの様に関係があるのか。

緩和することにより、建物の床面積を拡大する事が出来、有効利用が図れる。

住民要望は、どの程度あったのか。

件数は集計していないが、開発に関する事前相談の際に、事業者から基準緩和の意見が多数寄せられている。

賛成全員で可決



◆吉川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

農業委員と農地利用最適化推進委員の選任の方法は変わるのか。

農業委員は市長が任命するの
で市長部局で行い、推進委員は農業委員会が委嘱するので農業委員会で行う。

農業委員と農地利用最適化委員は、それぞれどのような方になるのか。

農業委員の公選は廃止、学識区分や団体推薦もなくなる。これまでの公選の時は農業者でなくはならなかったが、新たな制度では農業者でなくてもよくなる。

賛成全員で可決

◆吉川市都市公園条例の一部を改正する条例

賛成全員で可決

◆平成27年度吉川市一般会計補正予算

道路予算における予算執行が年度末に偏っているように思われるが、予算の執行状況についてはどのようになっているのか。

6月補正予算措置された工事については、既に全て工事発注しており、12月中にはおおむね完了する予定である。9月補正予算措置された工事については、12月中にはすべて発注する見通しで、おおむね2月中には、工事完了する予定である。

賛成全員で可決

◆平成27年度吉川市下水道事業特別会計補正予算

賛成全員で可決



答えて市長！

一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をた
だしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。
詳細は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例
会の会議録の提供は3月上旬となる予定です。

豪雨被害を受け、 防災対策の総括は

中村 喜一

問 台風18号被害を受け、明らかになった課題と、その対策は。
答 都市建設部長 災害情報など情報連絡手段の確保などに課題があった。床上浸水のあった須賀榎戸地区では、ポンプの排水能力が不十分だったことから、新たなポンプ所も検討したい。

農地の機能活用について

問 農地には多面的な機能があ
るが、優良な農地に影響を及ぼ
す開発に対して市の対策は。
答 市民生活部長 開発は都市計
画法などの許可が必要であり、
開発区域からの排水を適切な放
流先に決めることで、農業用水
の水質悪化を防ぎたい。

問 墓地などの開発ルールを定
める条例改正の進捗は。
答 市民生活部長 条例の関係住
民への説明会開催など事前手続
きの規定に不備はないが、経営
許可の手続きについては、緑地
帯や駐車場の規定などに不備が
ある。できる限り速やかに条例
改正をしたい。

独居高齢者の「安心に 医療情報プセル28年導入へ

降旗 聡

問 平成27年4月現在、吉川市
の独居高齢者は2450世帯と
なっています。今後、高齢化が
さらに進む中、緊急時の備えと
共に、地域の見守り活動の必要
性が高まっています。そこで①
民生委員さんや地域と連携した、
緊急連絡先等の情報把握の必要
性について ②救急隊などが迅
速・正確に医療情報などを把握
し、緊急連絡先が記入されてい
ること、親族等へ速やかに連
絡することができ「医療情報
カプセル」の導入について
答 健康福祉部長 ①身近で頼れ
る存在が民生委員や地域の方で

す。万が一の時に関係する方が
緊急連絡先等の情報が把握でき
手助けをしてあげられるような
仕組みづくりが、高齢化が進展
する社会において求められてい
ます。

②「もしも」の時に、駆け
付けた救急隊員が医療情報や緊
急連絡先などの情報を確認する
ことで、迅速な対応や的確に医
療機関へつなげることが可能と
なるなど、高齢者の安全・安心
の確保に大きく寄与するものと
考えています。また、配布や内
容の更新について、民生・児童
委員の協力をいただくことで、
高齢者の方々の見守りと不安解
消につながることから、平成28
年度の導入に向けて検討を進め
ています。

スポーツ・文化を通じて 夢をもつ力を育む

稲葉 剛治

問 スポーツ・文化の持つ力、
可能性や夢を持つ事について市
のトップの見解を伺う。

答 市長 スポーツ選手、アーテ
ィストになる事だけがスポー

乳がん・子宮頸がんの検診 受診率を上げるために

安田 真也

問 乳がん・子宮頸がんの検診
受診率は。
答 健康福祉部長 乳がんの検診
受診率は、24年度20・8%、25
年度20・6%、26年度20・2%。
子宮頸がんの受診率は、24年度
23・8%、25年度22・4%、26
年度18・2%である。

問 無料クーポン券制度の効果は。
答 健康福祉部長 乳がん検診は
約3倍、子宮頸がん検診は約2
・5倍増えていることから、クー
ポン券制度が受診率向上に大き
く寄与していることがうかがえる。

問 コール（勧奨）・リコール
（再勧奨）の認識は。
答 健康福祉部長 検診受診のき
っかけの提供となり、受診率を
向上させる方法として有効性が
確認されている事業と認識して
いる。また、受診率向上のため
には市民のがん検診に対する
個々の意識に応じた、きめ細や
かな勧奨が重要であり、対象者
のニーズにあわせた情報を整理
し、それぞれの気持ちに響く、
効果的なメッセージを送ること
が課題との認識をもっている。

多くの自治体でコール・リコー
ル制度によるがん検診受診率の
向上対策が実施され、成果を上
げているところには類似のキー
ポイントがあると考えているの
で、事例や効果を参考にし、効果
的な手法について検討していく。

『フロリデーション』推進 活動に対する市の姿勢は

稲垣 茂行

問 先般開催された、市民フォ
ーラム『乳幼児の虫歯予防』は、
市が共催したのですが、まる
で「フロリデーション推進決起
集会」のようでした。

市が掲げている『推進活動は
行わない』としている方針と大き
な齟齬が見られます。これはど
のような理由によるものなのか。
答 健康福祉部長 フォーラム開
催にあたり、医師会より共催の
申し入れがあった。市は、フッ
化物の全身応用である「フロリ
デーション」は推進しないとの
立場から、「フロリデーション」
の内容が含まれるかどうかを確
認した。

フッ化物応用の「フッ素塗布」
や「フッ素洗口」の安全性・有
効性についての啓発であるとの
返答であった。これらを踏まえ
て、共催を承認した。

しかし、フォーラムの内容
は、「水道水フロリデーション」
が相当程度含まれ、参加者には、
「フロリデーション推進」の為
のものとの誤解を与える内容で
ありました。

終了後、医師会に対し『遺憾』
の意を伝えた。

答 市長 全ての責任は私にあり
ます。医師会との信頼関係が損
なわれたと思う。今後、職員と
のコセンサスを深め、再発防
止に努めたい。



「おいしい学校給食」に

伊藤 正勝

問 新しい学校給食センターが4月に始動する。初のPFI事業。鉄骨2階建て。きよみ野北側の水田エリア。15年間の維持管理費を含め62億6800万円の契約だ。この機会に「おいしい給食」の実現をめざしてほしい。残さい率は一つの目安。実状を確認したい。

答 教育部長 給食の食べ残し残さい率は26年度のデータで小学生が9・74%。中学生は10・8%。児童生徒のアンケートでは90%弱が献立に満足との結果が出ている。さらに改善に努めたい。

問 東京都足立区はプロの料理家の協力によるレシピ集など「おいしい給食」に取り組み、小学生の残さい率は3・1%。数値目標を定め、関係者の知恵を集めてほしい。

答 教育部長 4月からの給食費



学校給食センター建設現場見学

値上げについても検討しており、児童生徒の意見の反映など献立の研究を充実、工夫していきたい。

問 主食の米飯は別途岩槻の工場から各学校に納入されている。災害時の炊き出しについては早期に備えが必要だ。

答 教育部長 給食センター側と市の担当者が年明けに協議し協定書を交わすなど必要な体制を整えたい。

住民要望に対応し、更なる水害対策の充実を

互 金次郎

問 9月の台風18号等による大雨では本吉川5区、上河岸、下河岸、下町には避難勧告が出されました。吉川小学校の体育館に4名の方が避難されました。地域の方々からは、避難所は体育館で大丈夫か。防災無線が聞こえにくい。安心して住めるよう堤防の強化・改修が必要だ。との声をいただきました。対策の充実を。

答 市長 情報伝達は、提案の防災ラジオの検討等も含めFM越谷の活用を考えています。吉川小学校の校庭の裏木戸は、作る方向で調整しています。

答 都市建設部長 堤防強化・改修は、当該地区は必要とされる余裕高が不足していますので、吉川橋の改修終了が目安と考えますが、緊急性の高い所からと考えます。



台風18号等による大雨被害

答 市民生活部長 浸水地域の現状や要因をとらえ被害軽減の対策に努めます。

◆運転免許自主返納に支援を

問 高齢者による交通事故が多発しています。事故防止の観点から高齢者の運転免許自主返納に支援を。

答 市民生活部長 他市の事例などを参考に調査研究します。

公共交通空白地域の輸送サービス実現を

五十嵐 恵千子

問 市民要望を受け、過去何度も一般質問等にて、公共交通空白地域解消のために、デマンドワゴン・タクシーを提案していますが未だ実現には至っていません。関係者の合意の下に地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画を策定し、公共交通空白地域の解消を。

答 市長 28年度以降の路線バス

運行費補助事業を5年間ではなく3年間の契約に区切り、その間、費用対効果を踏まえ、かなり前向きに検討していきます。

◆認知症施策のさらなる推進を

問 当市、認知症高齢者の増加等を考えますと、総合的な取り組みが求められています。

①市民参加で「認知症高齢者徘徊模擬訓練」の実施を。

②市内の空き家や空き店舗を活用し、高齢者が歩いて行ける身近な地域で「オレンジカフェ・サロン」等の更なる拡充を。

③認知症が心配のご本人や家族等がパソコンやスマートフォンで簡単に認知症チェックが出来「認知症簡易チェックサイト」を導入し、広く市民へ周知を。

答 健康福祉部長 ①平成28年2月に先進地の取り組みを学ぶ講演会の開催を予定。今後、実施について検討していきます。

②空き家や空き店舗の活用も含め、拠点確保の支援を検討する。

③導入に向けて検討しています。

美南地域のまちづくりについて

小野 潔

問 この3年間で人口は3759人、世帯は1424世帯の増となっております。この様に急激な人口増加の美南地域のまちづくりについて①駅前交番設置に向けての進捗状況②防犯灯の今後の設置について③調整池への

街灯設置とイルミネーション化

④美南中央公園駐車場に防犯カメラの設置を⑤食品スーパーの早期出店」を要望望声に市としてどの様に答えていくのか。

答 市民生活部長 ①吉川警察署と情報交換をし交番設置を働きかけていく。②今年度50基の設置予定で概ね完了となる。

答 都市建設部長 ③市民要望もあり検討した経緯がある。④今後の状況を見定め検討する。⑤早期出店に向けて働きかけていく。

◆ICT（情報通信技術）を活用したウォーキングロードの指定・設置・促進事業を

問 3カ年の県の補助事業として「吉川市毎日1万歩運動」で検証された結果を踏まえ、今後のウォーキング人口の増加策として、三郷市の「すこやかみさとICウォーク」のようなICTを活用したウォーキングロードの指定・設置を考えては。

答 健康福祉部長 ICTの活用も参考とさせて頂きながら、ウォーキングロードの設定について検討していく。

若い世代への投票率向上策は

山崎 勝他

問 若い世代への投票率向上策

は。

答 総務部長 成人式における啓発品の配布など行っている。また、吉川美南高校の生徒による選挙事務従事を実施し、意識の高揚を図っている。

問 高校生への主権者教育は。

答 総務部長 国では主権者教育用の高校生向けの副教材を作成し、27年11月以降、全国の高校に配布しており、これを活用した教育を実施していくとしている。

◆職員の綱紀粛正は

答 市長 職員倫理規程に職員としての自覚や禁止事項を定めている。周知を徹底するとともにさらに公務員倫理の確立を図ってまいりたい。また、職員の意識改革を促す研修を行い、市民対応を最優先に考える意欲のある職員を育成してまいりたい。

◆農業振興策

問 水稲の集落営農の促進を。

答 市民生活部長 農業経営の安定につながる施策であり、地域の実情の把握に努め、国や県の支援制度の情報提供を行うなど組織化に向けた支援を行ってまいりたい。

問 埼玉型ほ場整備事業の進捗状況と今後の拡大は。

答 市民生活部長 約13ヘクタール、事業費は約8800万円、事業面積による累積進捗率は、約53%の見込である。

答えて市長！一般質問

次ページへ続く



財政調整基金 積立金のあり方

小林 昭子

問 平成26年度決算は16億4703万円と、吉川市財政規模10%を目安の12億円に対し多額な額である。積立優先ではなく市民要望にもっと積極的な財政運営を。
答 総務部長 市民ニーズを的確に捉えて真に必要な事業を行っていく。

◆三輪野江地区の環境整備
問 産業地区構想と同時に環境整備の遅れに対する認識は。
答 市長 十分認識している。

◆新きぼり三郷境堰止め解除を
問 原因と解除の見通しは。
答 市民生活部長 原因は工場排水による水質汚濁。常時解除に向けヘドロ問題で協議中。

◆障がい児障がい者ショートステイ
問 対応できる入居施設を。
答 市長 現在グループホームは16人で運営されている。引き続き整備促進に取り組んでいく。

◆特別支援学校卒業生支援体制
問 フレンドパーク支援拡充を。
答 市長 通所事業所の定員確保に取り組んでいく。

◆生ごみ回収時間の改善を
問 中野地内時間が遅く問題。
答 市民生活部長 各地区の動向を見て、より効率的な見直しを図っていく。

駅南第4中学校 建設の前倒しを

佐藤 清治

問 平成32年4月の開校予定を早める考えはないか。
答 複合化は子ども達の学校生活に障害が生じることがない事が大前提と考えるが。

◆教育部長 開校を早めることは難しい。複合化については子ども達の学習環境を優先しながら、基本設計を行う中で検討していきたい。

◆小中学校のエアコン設置を早く
問 日本共産党市議団の2015年度予算要望書に対し、市長は実施に向け検討していくと回答している。見通しは。
答 教育部長 今後も設置について検討していく。

◆住宅リフォーム助成をさらに
市民要望に応えたものに
問 補助が実施されたことは評価している。市民の方々から要望にそった規模で行って欲しいとの声が寄せられているが。
答 市民生活部長 来年度は現状を踏まえて準備を進めていく。

◆市道の信号改善を
問 県道バイパスのセキ薬局から美南駅へ向かう2カ所の歩車分離信号を改善して欲しいとの声が寄せられている。
答 市民生活部長 今後も吉川警察署と情報交換をしていく。

TPPでどうなる、吉川の 農業、市民のくらしは

高野 昇

問 TPPは、農業、食料に影響を与えるだけでなく、金融・保険・医療などに与える悪影響も深く懸念されている。吉川の農業、市民のくらしにどう影響を与えると考えているのか。

◆市民生活部長 当市の主な農産物であるコメについて、既存の無関税輸入枠に加え国別の輸入枠が設定されることとなり、生産調整や米価への影響が懸念される。また、輸入食品の増加によつて安全・安心の食の確保も懸念される。

◆介護保険がどう変わるか
問 新事業では、軽度の利用者からの「介護の取り上げ」ともいえる事態が指摘され、不安の声があがっている。新事業への進捗状況、利用者が受けるサービス、利用料負担、市の財政負担はどう変わるのか。
答 健康福祉部長 今後も円滑な移行に向け準備を進めてゆく。

◆新しい事業への移行後も原則的には、指定事業者によるサービス提供をこれまでと変わらない利用料で受けることができる。

◆関公園のローラー滑り台
問 未だ設置されておらず、設置の方針も示されていない。市長の意向が反映しているものか。
答 市長 同じ物を持つてくるだけではないかどう検討中です。

若者に希望ある社会づくりの ための地方創生と子育て支援を

遠藤 義法

問 人口減少、若者に希望が持たない社会などこれまでの国の施策について市長の認識は。子育て支援の具体的施策として

①子育て世代の雇用の改善は。②保育所の入所待ちをなくすために保育所の増設を。③私立幼稚園児に対する市の財政支援策。④子ども医療費無料化年齢引き上げと近隣市町での窓口払い廃止を。⑤学校給食費の値上げをやめ、軽減を図る。多子世帯などへの支援策を。

◆市長 すべて悪いとは思わないうが責任は政治家、行政にある。市は独自の方針を決め、着実に進めていく。

◆市民生活部長 ①は、長時間労働抑制、年次休暇取得等市内企業に働きかけていく。
◆健康福祉部長 ②について平成29年度に入所待ち児童解消めざして、民間保育園の整備を促進していく。③国の低所得者世帯や多子世帯の補助を増額している。④年齢引き上げの考えはない。近隣の埼玉県以外の都県では、県の指導で医療機関での窓口払いをなくしており、埼玉県での実施を要望していく。

◆教育部長 給食食料費は学校給食法で保護者負担と決められている。就学援助の枠を引き上げると財政負担が増えることから考えていない。

総合運動公園の新設と 屋内健康スポーツ施設の拡充

齋藤 詔治

問 多様なスポーツグラウンドや屋内施設が不足している。市民の体力維持向上、健康予防に早急に対応しては如何か。

◆市長 当市の施設は同規模市と比べ平均的水準と考えているが、市民要望が高く、健康寿命の実現等、総合的なスポーツ施設の整備の必要性を強く感じており、検討して参ります。

◆子供や高齢者の移動手段を持たない、交通弱者に対する公共交通の不便な地域にも、公平な交通手段の確立を
◆健康福祉部長 社会福祉協議会と連携を図りながら、現在活動休止中の運転ボランティア活動等の研究育成、ボランティアセンターの運営を支援します。

◆先買いによる土地区画整理を
問 吉川美南駅東口周辺開発の計画案の見直しに対する地域説明会とアンケート調査結果の内容は。多くの区画整理事業実施に当たり、必ず行われている20〜30%の土地の先行取得が必要。
◆市長 本年10月説明会を実施。事業の移行確認調査結果は、回答率98%中、賛成率が91%です。先行取得は、地権者が減少・仮換地指定など合意形成が図りやすくなり、事業を円滑に進めるメリットがある反面、デメリットも多く考えられます。

防災対策について

加藤 克明

問 平成27年9月9日〜10日、台風18号等による豪雨において市内各所で床上床下浸水や道路冠水などが見られ、一級河川「中川」が警戒水位を超える恐れがあることから、10日午前0時10分、本吉川5区・上河岸・下町・下河岸の4自治会に対し「避難準備情報」、同午前4時20分には「避難勧告」が発令された。しかし、当該地域の避難所に指定された「吉川小学校」には、氾濫の恐れがある「中川」に隣接しており、避難場所としてはそぐわないのではないかとという声が多く寄せられました。

このような水害対策を見直し、新たな避難場所の選定をしてみては。
答 現時点で指定避難所、指定緊急避難場所の見直しを行う考えはございませんが、実際の水害対策における避難所や緊急避難場所の開設にあたりましては、市民の生命や身体に危険が及ぶことのないよう、水害発生時の状況に応じて適切な判断を行ってまいります。



10月臨時会審議結果

《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、- =退席、欠=欠席、議=議長（議決には加わりません。）、◎=議案提出者

議案名	議決結果	自民・みらい					共産			公明		改革		しみん党						
		加藤 克明	野口 博	中村 喜一	安田 真也	中嶋 通治	山崎 勝他	松崎 誠	佐藤 清治	高野 昇	遠藤 義法	小林 昭子	互 金次郎	五十嵐恵千子	小野 潔	稲垣 茂行	伊藤 正勝	稲葉 剛治	降旗 聡	齋藤 詔治
平成 27 年度吉川市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※附帯意見を賛成全員で可決。その内容は2ページに掲載しています。

12月定例会審議結果

《市長提出議案》

吉川市まちづくり整備基準条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例及び吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市部設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市債権管理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度吉川市水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

《議員提出議案》

消費税の 10%への増税中止を求める意見書	否決	×	欠	×	×	×	×	議	◎	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
平和安全保障法の廃止を求める意見書	否決	×	欠	×	×	×	×	議	○	○	○	◎	×	×	×	○	-	○	○	○
小・中学校普通教室へエアコンを設置し、猛暑対策を求める決議	原案可決	○	欠	○	○	◎	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「改革」は「市民改革クラブ」の略です。

次回定例会の予定

市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます。
お気軽にお越しください。



- 2月25日(木) 本会議【開会日・施政方針】
- 2月26日(金) 本会議【代表質問】
- 3月1日(火) 本会議【議案審議】
- 3月2日(水) 本会議【議案審議】
- 3月4日(金) 委員会【総務水道・文教福祉】
- 3月7日(月) 委員会【総務水道・文教福祉】
- 3月8日(火) 委員会【建設生活】
- 3月9日(水) 委員会【建設生活】
- 3月10日(木) 委員会【請願審査】
- 3月14日(月) 本会議【委員長報告】
- 3月16日(水) 本会議【一般質問】
- 3月17日(木) 本会議【一般質問】
- 3月18日(金) 本会議【一般質問・閉会日】

傍聴時のお願い

本会議は午前10時、委員会は午前9時30分に開会します。なお、傍聴の際は、次のお守りいただく事項があります。

- ◆ 静粛にすること
- ◆ 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- ◆ 騒ぎ立てる等、議事の妨害をしないこと
- ◆ 携帯電話等の電子機器の電源を切ること
- ◆ 係員の指示に従うこと



4年間ありがとうございました



2月4日に任期が満了となります。

市民の皆さまには4年間、限りないご支援をいただきありがとうございました。

市議会議員一同

◆ご意見・ご感想を お寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお待ちしています。

〒342-8501

吉川市吉川二丁目1番地1

吉川市役所 議会事務局

TEL&FAX (982) 9421

▼無料アプリ
「i広報紙」を
ダウンロード
します。

i広報紙

検索

▼性別、生年月、
お住まいの地域
(吉川市)を登録
してください。

使い方は
こちらです



ダウンロードは
こちらから

スマートフォンで 議会だより

議会だよりが、スマートフォンやタブレット端末等で読めるようになりました。記事を切り取って保存したり、保存した画像をメール等で送信することもできます。



表紙の 写真



「消火訓練、終了しました！」子供たちの元気な声が響きます。
写真は1月10日吉川市消防出初め式で実施された「吉川松伏少年消防クラブ」による訓練の様子。
本クラブは、吉川市及び松伏町の小学5、6年生25名で構成され、将来の地域防災を担う人材を育成することを目的にさまざまな活動をしています。

編集 後記

立春とは申しませんが、まだ寒さ厳しき日が続いております。
任期最後の12月定例議会は11日をもって閉会となりました。現広報委員会での編集も、この号で最後になります。
より多くの皆さまに「議会だより」を読んでもらうという企画をして参りました。「子供達から市議会へ質問！」や、吉川市の歴史を綴った「吉川市史」の紹介など、市内小中学校の子どもたちにご協力を頂き、市のHPアクセス数が増加するなど効果が見られました。ご協力頂いた皆さまに感謝を申し上げます。
次号より新たな委員での編集になりますので、今後ともよろしくお願い致します。
加藤 克明